

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	2人	0人	11人

前回の改善計画	連絡ノートを有効に活用する。ご家族に興味を持って見てもらえるように、時には写真を添える。また、ご利用者がえんやでどのように過ごしておられるか、想像できるような文章を書く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の様子や変化など個々の状態が見えてくるような記録が出来るように、個々の様子をしっかりと捉えようと意識をした ・家族への安心提供のためには写真を添えることが望ましいが、当日に配ることは時間的に困難だった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	4		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族とも連絡ノート、電話などで連携を心がけている ・初期の方の連絡ノートは特に丁寧に書くよう努めている ・本人や家族に対して声かけや気遣い、関係作りのための配慮は出来ている ・フェースシートを活用し全員に回覧、朝礼、連絡ノートなどで新しい情報は出来るだけ伝えている ・送迎に出てご家族にお会いした時には家での様子を聞き、また、えんやでの様子を伝えている ・ミーティングで各ご利用者の支援方法を話し合っている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートに書くことがどこまでどの様子に書けばいいのかかわからず、満足のいく記入が出来ていない ・勤務条件もあり送迎がなく、家族や介護者に会える機会がなく、必要な関係作りが出来ていない ・朝、持参された時に家人からの情報を収集していないまま支援に入っている ・誰もが確認できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>連絡ノートのご家族からのコメントを職員誰もが確認する。自宅⇔えんやそれぞれの様子を情報共有する。これまでの生活やこれからどうしたいか、どう過ごしていきたいか思いを聞いてその人を知る。知り得た情報はフェースシートに書き足し、共有していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	4人	0人	11人

前回の改善計画
入浴や泊まりの時など、時間をかけてゆっくりとその人の話に耳を傾ける。そして、聞いたことは、どんなささいなことでもケースに記録し、情報を共有する。家族や地域の方から聞き取った内容もしっかりとケースに記録する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・入浴や泊まりの時などはゆっくりと話を聞いている
・入浴や泊まりなどご利用者と職員が1対1になった時は話を聞き、聞いた内容が職員全員に共有できるよう記録出来ている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	2	7	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	2	7	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	1	8	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	5	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人、家族から聞いた話はすぐにケースに記入する
・休みが続いてもケースに詳しく書かれているため現場に入りやすい
・本人の発した言葉をケース記録に記入しようと努めている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアプランを確認しておらず目標やゴールが見えていない (しっかり話ができている、おとなしく黙っていることが多いご利用者に対して接する時間が短い)
・家族の思いもよくわかっていない
・ご利用者に聞いた些細なことでもケースに記録し情報を共有できていない
・ケース記入を忘れてしまうことがある (習慣が出来ていない)
・個々の目標や望むことを職員に周知できていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
改まって本人の思いや、「～したい」という思いを聞くのではなく、レクの一環として、これからどう過ごしていきたいかなどをそれぞれ紙に書いていただく。それを3ヶ月に1回実践することで変化を見てとれることもある。ご本人のしたいことや夢の実現に向けて取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	6人	0人	11人

前回の改善計画	個人ファイルの内容を充実し、一人一人の暮らしぶりなどを把握し、日々のかかわりの中で、ご利用者の「できる力」を奪わず、失われた能力を取り戻せるよう支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・できることは見守りに徹している ・ご利用者に対して手をかけ過ぎている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			8	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	7		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	2		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録、ミーティングで本人の思い、状態を共有している。 ・ご利用者の変化に気づいたら連絡ノートやミーティングで共有している。即、対応が必要な場合は可能な限りの支援はしている。 ・ミーティングで状態が変わったご利用者について皆で話し合いその方に合う支援方法を考え実施している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方、本人の声にならない声が今一つ把握できていない。 ・初回アセスメントで十分把握できなかったこれまでの暮らし方などを利用開始以降でもしっかりと聞き取れていない。 ・把握したことを全員にリアルタイムで周知できていない ・心的心声を聴くのは難しい。時間に迫られたりした時について手を出しご利用者のできることを奪ってしまうことがある ・個人ファイルを確認するなど把握できていない部分がある ・目の前の問題点のみを見ている 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者の日常生活の変化を把握するために、介護記録ファイルを作成し、職員がいつでも情報を見れるよう書類の整理と意識付を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	5人	0人	1人	11人

前回の改善計画	まずは、地元の立野地区の皆さんにえんやをより知っていただくよう活動していく。「えんやだより」を地区で回覧していただけないか、区長さんや民生委員さんをお願いしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・定期的に「えんやだより」をご家族、地域、かかりつけ医あてに発行できた (続けていくことが大切)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	3		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8	3		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	2	7	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・独居の方については、近隣の方へ日頃から会話をしよう努めている ・立野地区のボランティアさんに来ていただいている ・直接ご本人がご家族に話しにくいようなこと (感謝の気持ち) を離された時は連絡帳に記入するようにしている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源が把握できていない ・民生委員さんとは機会があれば話するように努めているがタイミングも難しく全地域ではない ・ご利用者がえんやで過ごしておられる以外、どんな生活をされているのかわかっていない ・地域にある資源をよくわかっていないように思う 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域とご家族へ発信する「えんやだより」を継続していく。 ・チェックシートを作って、家での生活の様子やご近所とのやりとりなどをご利用者本人に書いていただく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	1人	0人	11人

前回の改善計画
日々変化のご利用者、その日、その時にあった支援を行う。身体の変化だけでなく、心の変化にも着目し、不穏な方へ安心感を持っていただけるような、施設の雰囲気作りに取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
・不穏なご利用者に対しては1対1でゆったりと接しお話を聞くように心がけている
・日々変化のご利用者にとって最善な支援が出来ていない部分もある (観察力不足)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	7	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6	2		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	1		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・トイレ、入浴に関してしつこい声かけはしないようにしている
・可能な限り急な受け入れを心がけている
・ミーティング等を通じてその方に合う支援の方法を話し合っている
・ボランティアさんに来ていただいている
・不安に持っている方とゆっくり話をして落ち着いていただいている
・帰りたの方に我慢して頂くだけでなく、家族の協力を得ながら一度帰宅やそのまま帰宅して頂いている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・独居の方について近隣の見守り依頼をしているがほんの一部である
・帰宅願望のある方へ不安な気持ちを取り除くことができないまま自宅に送ってしまう。帰宅願望のある日の1日の行動パターンが把握できていない(帰られてからなぜ今日は帰りたくなかったか?なぜ今日は帰宅時間まで大丈夫だったか?など全員で共有できていない)
・不穏な方への接し方がうまく出来ない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
引き続き、ニーズに応じて必要なサービスを柔軟に提供していく。ご家族の日頃の介護の苦勞を共感、理解し、負担軽減の泊まりの声かけも行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	4人	11人

前回の改善計画	地域のこども園や小学校との交流を密に行うよう働きかける。交流に「来てもらう」だけでなく、えんやからも「出向いていく」ことを考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	・こどもたちとの交流が減ってしまった (こちらからの働きかけもほとんどしていなかった)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2	2	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1		3	7	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		4		7	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	2	2	5	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の防災訓練に参加した ・ボランティア、小学生に受け入れをしている ・退院に向けてのカンファレンス参加や福祉用具のサービス担当者会議を開いた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・外へ出向くことができる軽度なご利用者もおられるが機会がない ・自治体等の会議や他のサービス機関との会議に施設長以外参加できていない ・会議や研修に積極的に参加していない ・昨年までは地区の運動会に参加していたが、今年から取りやめたこともあり、地区との関わりが少なくなった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・子育て支援センターへ行き来し、交流をする。 ・オープンスクールへ参加し、子どもとのふれあいの場を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

7. 運営

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	2人	9人	11人

前回の改善計画
立野地区のミニデイに参加させていただけないか、区長さん、民生委員さんをお願いする。
可能であれば、えんやで行っているレク体操などを行い、相談を受けたり、頼られる事業所になれるよう交流を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域の方々とのコミュニケーションが出来なかった
・ミニデイ参加のお願いが出来ていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	2	4	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	3	3	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	5	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	4	6	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・立野地区のご利用者が多い点は地域と接していく点でつながりを深く保っている
・立野産の米を利用している
・利用者や家族から何か要望があれば聞き、取り入れている
・地域の一員として防災訓練に参加した
・家族からのコメントをケースに入れ共有することができた
・自分の意見として伝えることはできるが、その後統一できているかわからない

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族や地域との関わり (施設長や主任との関りが多い)
・地域の方の意見や苦情は聞くことがない
・地域のえんやに対するニーズが少ない (把握するほどの関係性が持てていないのか)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・送迎に来られたご家族に、気軽に立ち寄ってもらえるオープンな雰囲気作り。
・七夕やクリスマス会など、えんやの季節行事を連絡ノートに書いてお誘いする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	人	人	11人

前回の改善計画	「ヒヤリハット」などを有効活用し、予測されるリスクに対して、どのように予防するべきかをミーティングで話し合う。えんやの質を上げるために、全員でしっかりと振り返りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでひと月に起きたヒヤリハットを話し合っている ・ヒヤリハットの記入は定着している ・ひやりハットで何度も同じ事例が出てくる (他人事とってしまっている、適切な対策が打てていない)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	4	1	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	1	3	11
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	3	6	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修などできる限り参加している ・自分のスキルアップのために勉強している ・施設内だけでなく法人全体で感染対策研修など行っている (皆が参加できるようにと日にちや場所を変えて数回行われるため参加しやすい) 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の資料の共有が出来ていない ・スキルアップや知識向上のための研修に参加できていない (業務優先を言い訳にしている) ・リスクマネジメントについて、大体は出来ていると思うが、全員ではない。「この人は大丈夫だろう」という自己判断がある) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修に参加した職員は、ミーティングで研修報告をする。「伝える力」を身につけ、また知識を共有することで、全体のスキルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年11月8日 (18:00~20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 守本、須磨、西垣、井田、中野、古屋、南、山口、山本、高本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	0人	0人	11人

前回の改善計画
ホールからトイレの中が見えることがあるため、カーテンを付けてプライバシーをしっかりと守る。また、書類の保管場所の変更など、施設内のレイアウトをしっかりと考える。

前回の改善計画に対する取組み結果
・トイレのカーテンの使用をどの利用者にも声をかけている
・個別トイレにはカーテンがないトイレもある

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	1		11
②	虐待は行われていない	11				11
③	プライバシーが守られている	3	8			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2	9	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	4	4		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個人の情報に関することを大きな声で話さないようにしている
・個人のプライバシーを守り身体拘束や虐待を行っていない
・ご利用者の思いを尊重した介護を心がけている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者の前にバイタル表や記録用紙を置いていることがある (置き場所が定まっていない)
・言葉遣い (親しいと馴れ馴れしいは紙一重)
・ご利用者の情報や状態など、他者が見える、聞こえる場所で話をしている (プライバシーに対する意識が低い)
・ベッドの4点柵が必要でない方にもされていることあり
・耳が遠い方にこっそり話をしても筒抜けになっている

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・個人的な情報を大きな声で話さない。
・視野を広く持ち、周りの職員の動きも確認しながら、「今、自分は何をすべきか」を考えながら行動する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 朝来市社会福祉協議会	代表者	会長 伊藤 宣廣	法人・ 事業所 の特徴	法人の理念：「誰もが安心して暮らせるまちづくり」 事業所は住宅街の一角にあります。建物はこじんまりとした造りとなっていますが、とてもアットホームで温かい雰囲気です。ご利用者、職員の笑い声が絶えないえんやで、お一人お一人が生きがいや意欲を持った在宅生活を送れるよう支援しています。
事業所名	小規模多機能施設 宅老所 えんや	管理者	施設長 守本 里美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員全員がこの自己評価を理解するために、「評価ガイド」の勉強会を事前に行う。	事前に職員ミーティングで「評価ガイド」に基づき勉強会を行った。それぞれ真剣に自己評価ができた。	職員の自己評価が昨年より「できている」をつけているところが増えていたように思う。同じ方向を向いているのではないかな。	職員もサービス評価についての理解はまだまだ不十分なため、各自の実践の振り返り、他の職員の意見を聞き事業所としての改善策を考えていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・運営推進会議を年に数回はえんやで行い、ご利用者や職員との交流の場とする。	今年度最後の会議をえんやで行った。一緒に昼食をとり、施設の雰囲気やご利用者、職員の表情など見ていただいた。	・施設の増改築をしてもう少し余裕のあるスペースが作れないか。 ・施設の見学ができてよかった。	施設内の整理整頓を心がける。来客者が好印象を持てるよう施設の環境作り、美化を職員全員が意識し行う。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の行事に参加した時は、えんやの取り組みなどをアナウンスし、知っていただく機会を作る。	・一斉避難訓練に参加し、地域の方々にえんやを知ってもらうことができた。また、避難時の応援依頼をした。 ・「えんやだより」を地区と医院に配布している。	・住宅街の中だが、今は子供も大きくなり外で遊ぶ姿も見かけなくなった。	一斉避難訓練に参加し、地域の一員としての自覚を持つ。また、地域住民が考える危険箇所の共有をさせてもらう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者以外の方の地域の相談ごとがあれば高齢者相談センターへ繋いでいく。	地域の方などが相談に来られることはなかった。	ミニデイや老人会の行事への参加を考えてはどうか。地域との交流が深まる。	ご利用者が住む地域の民生委員さんと情報交換をし、これまでの地域での生活ぶりや役割りなどを聞かせてもらう機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・えんやとしての取り組みをしっかり説明し、わかりやすい言葉と具体的な表現で伝える。	介護をされるご家族の葛藤について事例報告した。委員さんの中にはご自分の介護談をお話される方もおられた。	・会議では具体的な取り組みを伝えて欲しい。「～に対して、～しています」など。 ・季節的に気をつけていることなどを説明して欲しい。	年間の会議の中で1回は事例検討を行う。個人情報の取り扱いには十分注意をする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・避難訓練はえんやだけでなく、運営推進委員、ご家族、近隣、地域センターにも参加の声をかける。もしもの時の対策を一緒に考える時間を作る。</p>	<p>・委員の皆さんや近隣への声かけができなかった。計画から実施までの時間が足りなかった。計画性を持って行いたい。</p>	<p>・朝来市の避難訓練への参加はよかったと思う。 ・事前に教えてもらえば施設の避難訓練にも参加はできる。</p>	<p>えんやの避難訓練に運営委員さんに参加いただいて、緊急時の対応について意見をいただく。</p>
----------------------------	--	---	---	---